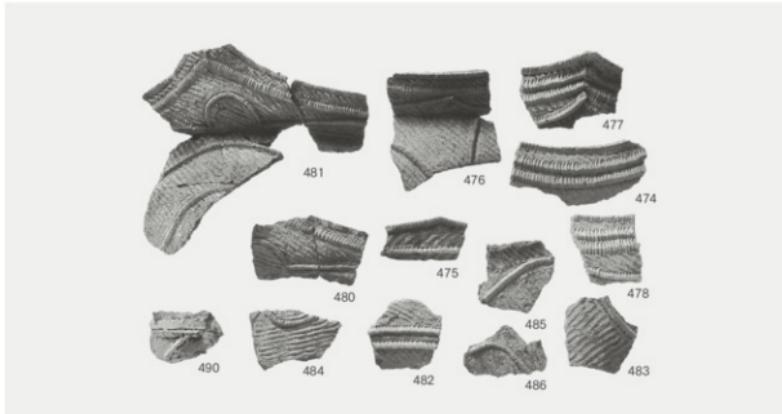
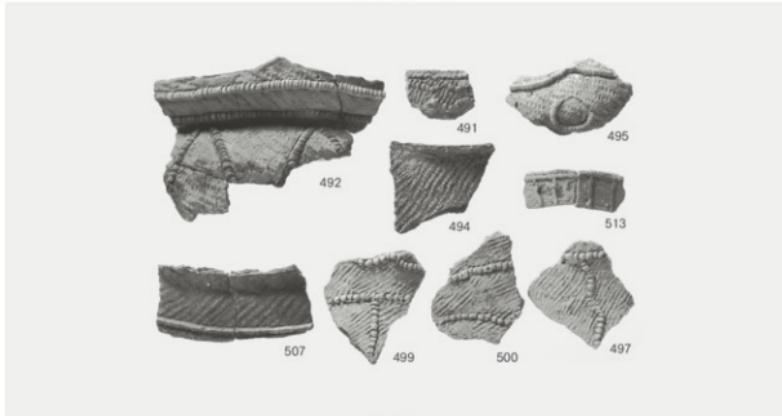


II群2類f

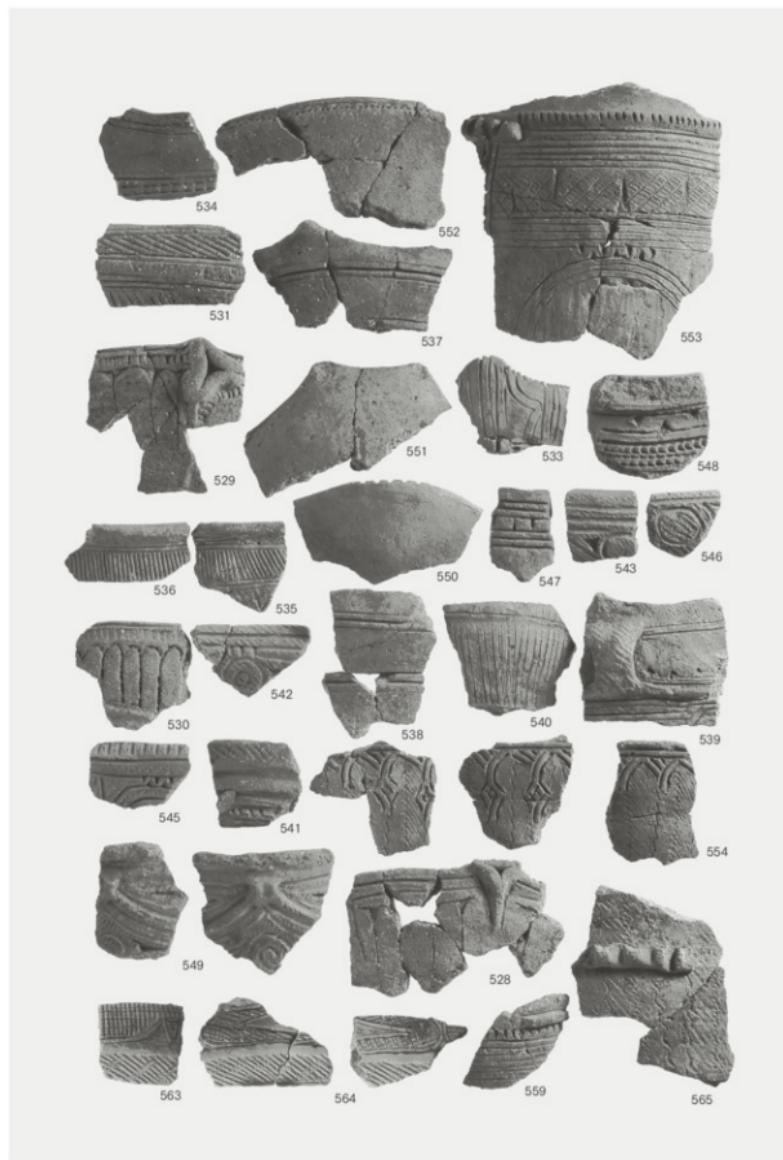


II群2類g・h

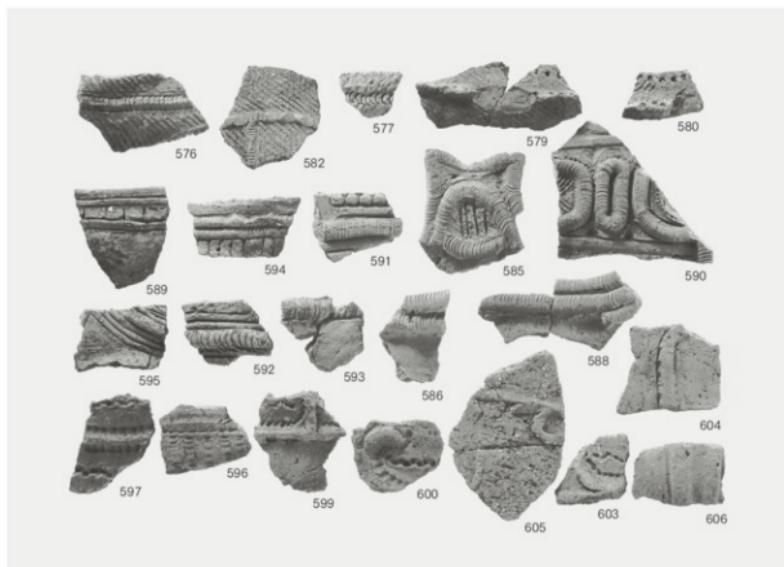


II群2類i

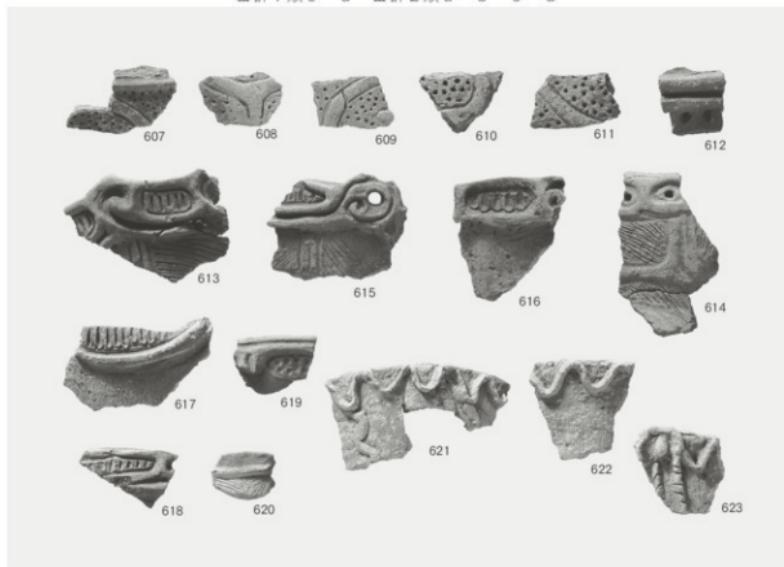
図版 54



III群 1類 a

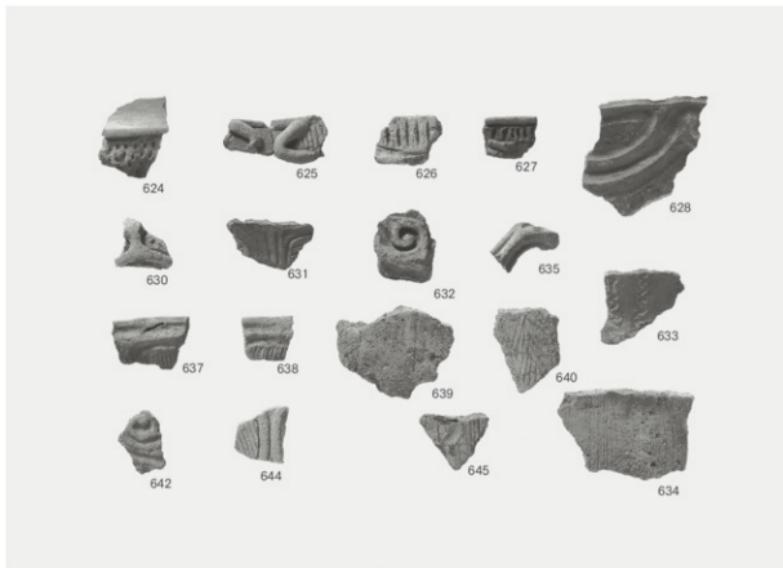


III群1類c・d・III群2類a・b・c・d



III群3類a

図版 56

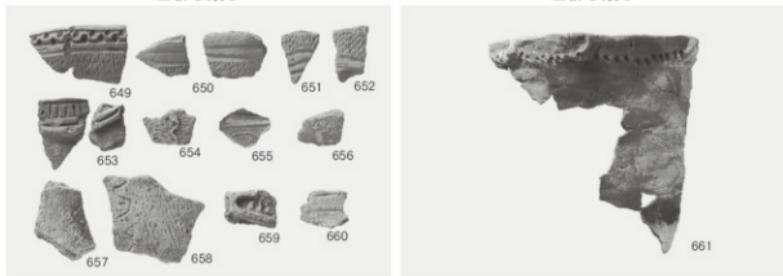


III群3類 a・b・d



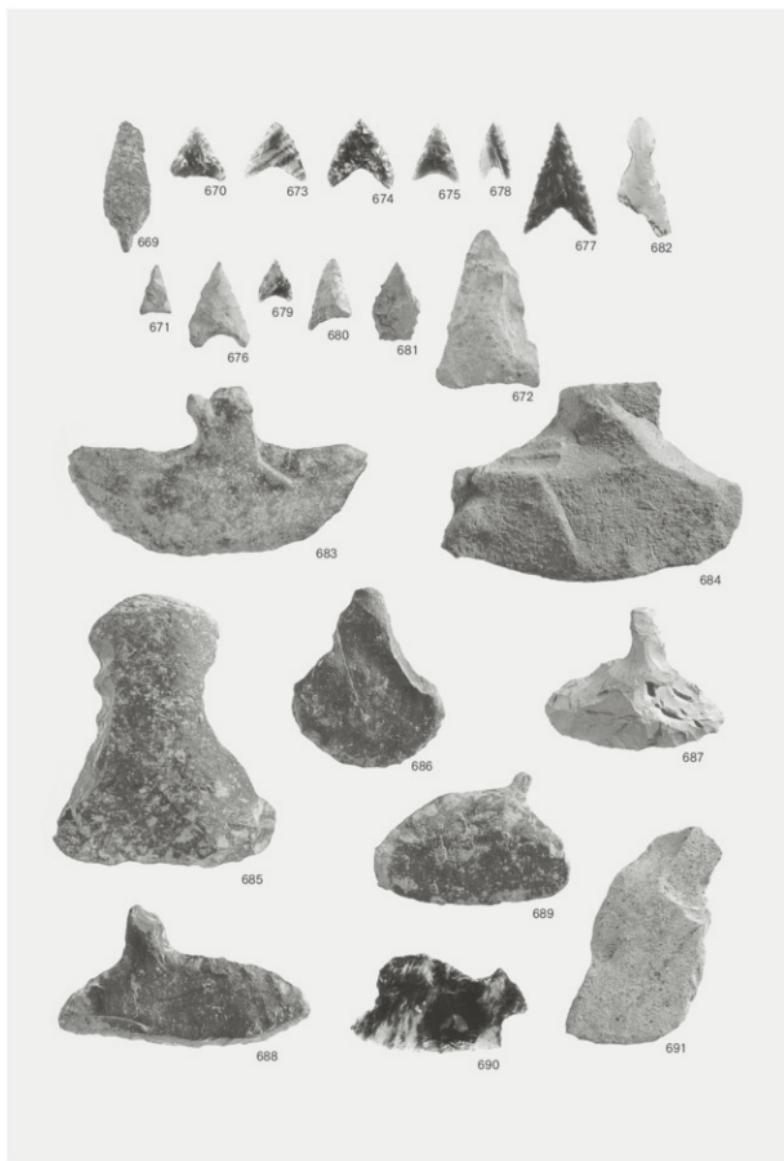
III群3類 c

III群3類 e



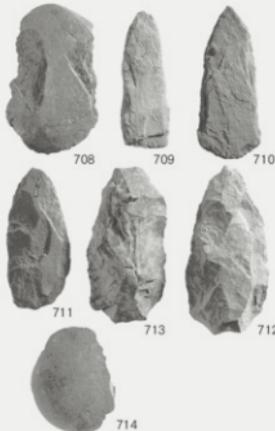
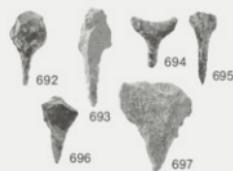
III群3類 e・IV群 a

IV群 b

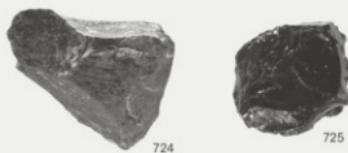


有茎尖頭器・石鎌・石匙

図版 58



打製石斧

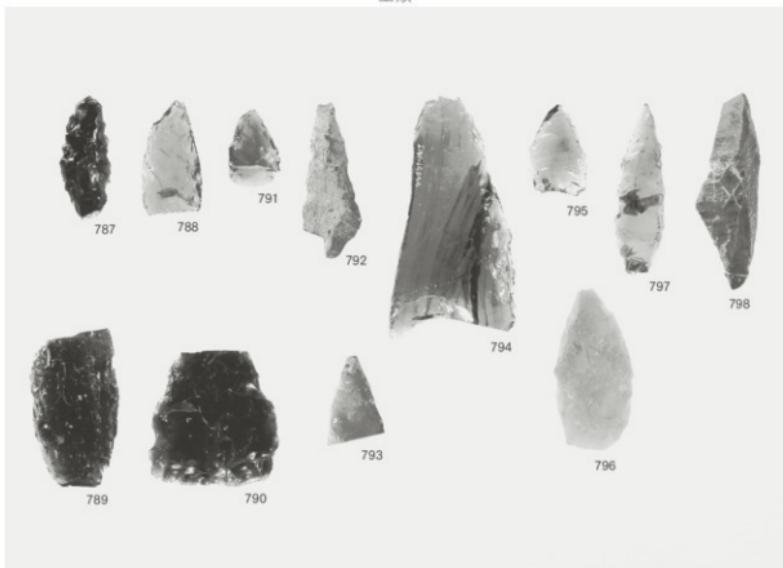


磨製石斧・礫器・石核

石核



玉類



旧石器

図版 60



中尾沢遺跡 第2遺構面全景



分地遺跡 全景



中尾沢遺跡 SH 1



SH 2 遺物出土状況

図版 62



中尾沢遺跡 SH3



SH4

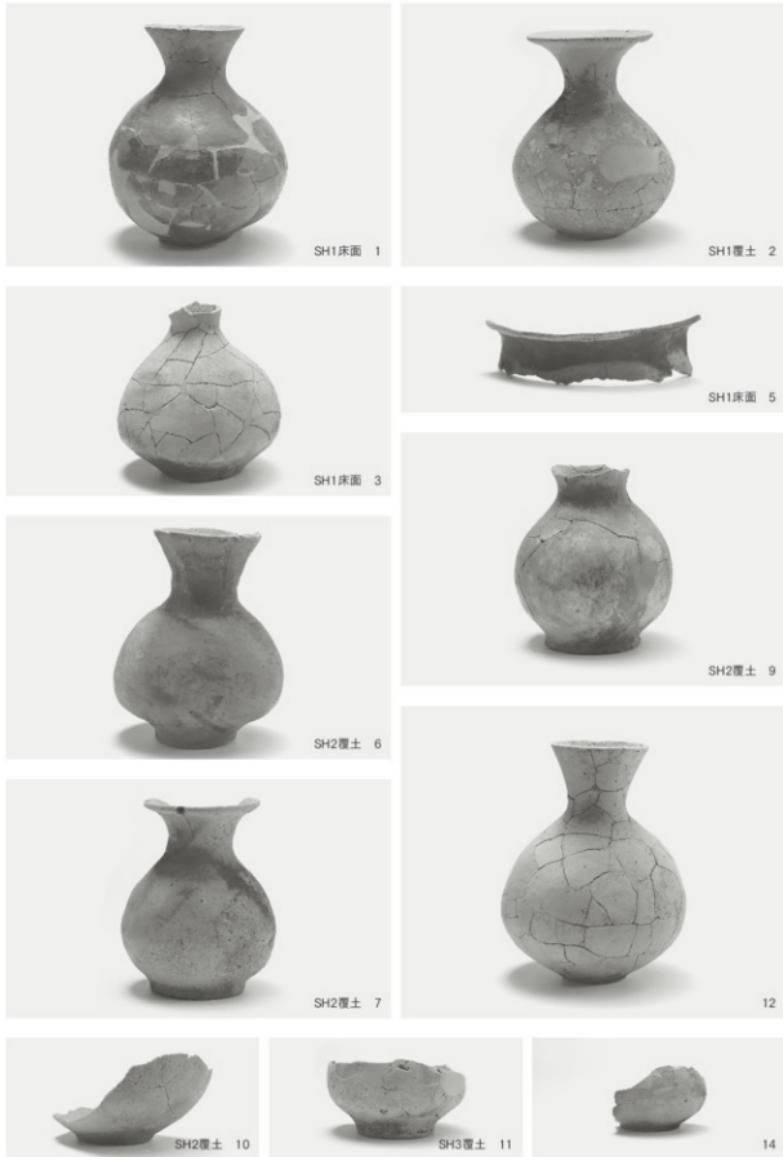


分地遺跡 SD 1

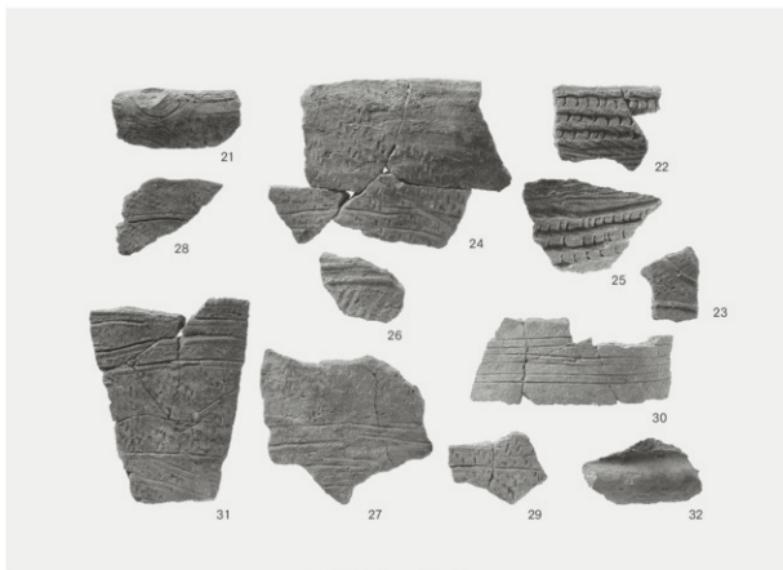


SD 2

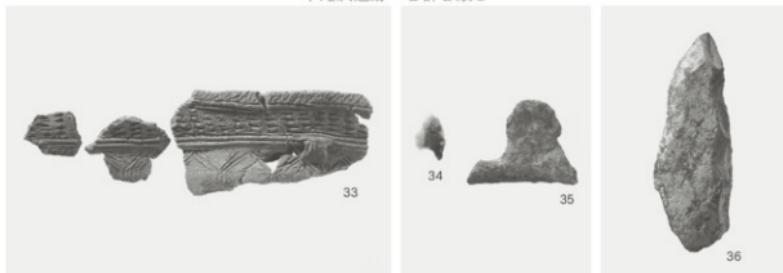
図版 64



中尾沢遺跡古墳時代土師器



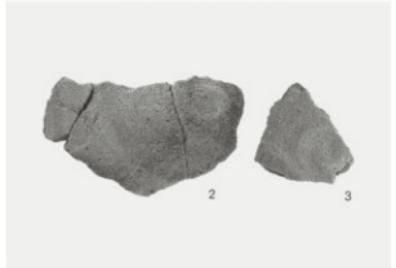
中尾沢遺跡 II群 2類 a



中尾沢遺跡 III群 1類 a

中尾沢遺跡 剥片石器

中尾沢遺跡 打製石斧



SD2 1  
分地遺跡 石鎌

分地遺跡 出土土器

# 報告書抄録

ふりがな	ふじおかいちこふんぐんほか						
書名	富士岡1古墳群他						
副書名	平成21・22・24年度地域活性化基幹農道愛鷹2期地区農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財センター調査報告						
シリーズ番号	第37集						
編著者名	岩崎しのぶ 西田真由子 株式会社加速器分析研究所						
編集機関	静岡県埋蔵文化財センター						
所在地	〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田23-20 TEL 054-262-4261㈹						
発行年月日	2013年3月29日						
ふりがな 所収道路名	ふりがな 所在地 市町名	コード 追跡 番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
富士岡1 古墳群	静岡県富士市富士岡	22210	35°10'22"	138°43'44"	200908~ 201007 201206~ 201208	1556.9m <sup>2</sup>	記録保存調査
向山道路	静岡県富士市中里字向山	22210	35°10'21"	138°43'54"	200908~ 201003 201004~ 201008	1434.2m <sup>2</sup>	
中尾沢道路	静岡県富士市中里字中尾沢	22210	35°10'19"	138°43'58"	201005~ 201008	333.8m <sup>2</sup>	
分地道路	静岡県富士市中里地蔵	22210	35°10'10"	138°44'5"	200908~ 201008	330m <sup>2</sup>	
所収道路	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
富士岡1古墳群	古墳・集落	古墳時代後期	古墳周溝3・溝状造構2ほか	土器器(环身・坏面)			
		古墳時代前期	椭穴建物5・獨立柱建物1・祭穴状造構1・方形周溝墓5・溝状造構2ほか	土器器(壺・台付甕・高杯・鉢・小型鋤頭)			
		縄文時代	椭穴状造構1・集石5・埋甕・性格不明造構1	縄文土器・土製品(土製円盤・块状耳飾)・石器(石鏡・石甕・石器・石器・スクリーパー)・打製石斧・打製石刀・石器・石器・石器・石器・石器・石器	・包含層から縄文前期の溝状構・十三普提式・中期の五領ヶ台式土器が多く出土		
		旧石器時代		尖頭器・ナイフ形石器			
向山道路	集落	中近世	溝状造構2・土坑13	陶磁器			
		古墳時代前期	椭穴建物4・獨立柱建物1・祭穴状造構1・溝状造構1・性格不明造構2ほか	土器器(壺・台付甕・小型・型・網織石器)			
		縄文時代	椭穴居1・椭穴状造構6・集石11・性格不明造構1ほか	縄文土器・土製品(土製円盤)・石器(有茎尖頭器・石鏡・石甕・石器・スクリーパー・打製石斧・磨製石器・石核・縄器・石鏡・石鏡・石器・石器)・石製品(勾玉・穿孔・块状耳飾・碧玉)	・中間後業の堅穴住居検出 ・包含層から縄文前期の溝状構・十三普提式・中期の五領ヶ台式土器が多く出土		
		旧石器時代		尖頭器・ナイフ形石器			
中尾沢道路	集落	古墳時代前期	椭穴建物4・獨立柱建物1・溝状造構2・土坑4・小穴4	土器器(壺・甕)			
		縄文時代	なし	縄文土器・石器(石鏡・石甕・打製石斧・石核・磨製石・石器)			
分地道路	集落	古墳時代以降?・縄文時代	溝状造構2・土坑・小穴	縄文土器・石器(石鏡・石器)			
富士岡1古墳群は、全國的に古墳が多いことが知られる富士山南麓から愛鷹山南西麓に位置する古墳群の一つである。富士岡1古墳群内の一部の古墳は発掘調査がなされ、段階造を有する横穴式石室が検出されたことで知られている。また、縄文時代の包含層が存在することも過去の調査で明らかとなっていた。							
今回の調査では、古墳の調査が検出されたとともに、古墳時代前期の塗装落と方形周溝墓が検出された。							
縄文時代は早期・前期・中期にかけての遺物が出土したが、中でも縦轆轤式土器、十三普提式土器をはじめとする前後半代の土器が多数出土した。富士山南麓ではこうした土器がまとめて出土した例は未だかつて見られておらず、静岡県東部における前後半代の土器編年等を考慮する上でも欠かせない資料と言える。							
向山道路では古墳時代前期の塗装落と方形周溝墓が検出された。塗装落を構成する椭穴建物の中には建築材と推定される礎化物が出土したものを見られる。土師器と一緒に土器が出土しているものも存在する。							
また、曾利式土器を伴う縄文時代中期後業の椭穴建物も検出された。縄文時代の遺物は富士岡1古墳群と同様、早期から中期の土器が多く出土した。最も多いのは前期後代の諸鏡式土器で、十三普提式土器、中期前半の五領ヶ台式土器も多く出土した。							
中尾沢道路では古墳時代中期の塗装落が検出された。椭穴建物に伴って土師器が出土した。包含層から縄文時代中期後半代の土器、五領ヶ台式土器が出土した。							
分地道路は溝状造構と土坑・小穴が出土しているが、詳しい時期は不明である。							

要約

静岡県埋蔵文化財センター調査報告 第37集

## 富士岡1古墳群他

平成21・22・24年度地域活性化基幹農道  
愛鷹2基地区農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成25年3月29日 発行

編集・発行 静岡県埋蔵文化財センター  
〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田23-20  
TEL 054-262-4261㈹  
FAX 054-262-4266  
印 刷 所 みどり美術印刷株式会社  
〒410-0058 沼津市沼北町2丁目16番19号  
TEL 055-921-1839㈹